

A区分・B区分・C区分共通

No.1(実演芸術)

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

| | | | |
|----|------|----|----|
| 分野 | 伝統芸能 | 種目 | 邦楽 |
|----|------|----|----|

申請区分(申請する区分を選択してください。)

| | |
|------|-------|
| 申請区分 | A区分のみ |
|------|-------|

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

| | | | |
|---------|---|--------|-----|
| 複数申請の有無 | 有 | 申請総企画数 | 5企画 |
|---------|---|--------|-----|

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

| | |
|--------------------|--------------------------|
| 複数の企画が採択された場合の実施体制 | 公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能 |
|--------------------|--------------------------|

芸術文化団体の概要

| | | | |
|--------------------|--|---|----------|
| ふりがな 制作団体名 | かぶしきがいしゃぼっくすよろづや 株式会社BOX4628 | | |
| 代表者職・氏名 | 代表取締役・滝沢直也 | | |
| 制作団体所在地 | 〒 171-0014 東京都豊島区池袋3-1-12-702 | 最寄り駅(バス停) | 東京メトロ 要町 |
| 電話番号 | 03-6907-0569 | | |
| ふりがな 公演団体名 | おきげいだいりゅうきゅうげいのうせんこうおーびーかい 沖芸大琉球芸能専攻OB会 | | |
| 代表者職・氏名 | 会長・玉城和樹 | | |
| 公演団体所在地 | 〒 901-1203 沖縄県南城市大里大城2565-35 スイートテラス2-B | 最寄り駅(バス停) | 仲程 |
| 制作団体 設立年月 | 2015年 4月 | | |
| 制作団体組織 | 役職員 代表取締役:滝沢直也 取締役:榎本かおり、岡本雅人 顧問・相談役:織田紘二 | 団体構成員及び加入条件等 役員3名 監査役1名 事務局員5名 ※当団体の活動に賛同し琉球芸能に携わる実演家および関係者、舞台スタッフ | |
| 事務体制 (専任担当者の有無) | 専任の事務担当者を置く | 本事業担当者名 | 榎本かおり |
| 経理処理等の監査担当の有無 | 有 | 経理責任者名 | 税理士 大塚康正 |

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|---|----------------|---|--------------|---|-------------------------|--|-----|--|-----|--|
| 制作団体沿革 | <p>2013年 制作会社BOX4628として発足、現住所に所在地を置く 2015年 法人格を取得、株式会社BOX4628 2015年 日本財團主催による「にっぽん文楽」六本木公演のアシスタントプロデューサーを務める 2017年「平成29年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2018年「平成30年度文化芸術による子供の育成事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2019年「令和元年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2020年「令和2年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 2021年「令和3年度文化芸術による子供育成総合事業」巡回公演事業採択(2団体) 沖縄伝統組踊「子の会」、一般社団法人善竹狂言事務所 2022年「令和4年度文化芸術による子供育成推進事業」巡回公演事業採択、沖縄伝統組踊「子の会」 </p> | | | | | | | | | | |
| 学校等における公演実績 | <p>2013年 組踊鑑賞会「執心鐘入」3校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」6校、「落語教室」6校 2014年 組踊鑑賞会「執心鐘入」17校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」4校 「落語教室」10校 2015年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」5校 「落語教室」10校 2016年 組踊鑑賞会「執心鐘入」20校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」3校 2017年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「パーフェクトパントマイム」1校、「狂言教室」35校 2018年 組踊鑑賞会「執心鐘入」15校、「狂言教室」27校 2019年 組踊鑑賞会「執心鐘入」10校、「狂言教室」16校 2020年 組踊鑑賞会「執心鐘入」8校、「狂言教室」10校 </p> | | | | | | | | | | |
| 特別支援学校等における公演実績 | <p>2016年 「組踊鑑賞会」 1校</p> | | | | | | | | | | |
| 参考資料の有無 | <table border="1" data-bbox="390 1637 1446 1888"> <tr> <td data-bbox="390 1637 933 1709">申請する演目のWEB公開資料</td><td data-bbox="933 1637 1446 1709">有</td></tr> <tr> <td data-bbox="390 1709 933 1803">※公開資料有の場合URL</td><td data-bbox="933 1709 1446 1803"> https://www.youtube.com/watch?v=rSHC1aMifBs https://www.youtube.com/watch?v=ZGsZQlqXlaY https://www.youtube.com/watch?v=Lkbhr9xg_4A </td></tr> <tr> <td data-bbox="390 1803 933 1888">※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</td><td data-bbox="933 1803 1446 1888"> <table border="1" data-bbox="933 1803 1446 1888"> <tr> <td>ID:</td><td></td></tr> <tr> <td>PW:</td><td></td></tr> </table> </td></tr> </table> | 申請する演目のWEB公開資料 | 有 | ※公開資料有の場合URL | https://www.youtube.com/watch?v=rSHC1aMifBs https://www.youtube.com/watch?v=ZGsZQlqXlaY https://www.youtube.com/watch?v=Lkbhr9xg_4A | ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | <table border="1" data-bbox="933 1803 1446 1888"> <tr> <td>ID:</td><td></td></tr> <tr> <td>PW:</td><td></td></tr> </table> | ID: | | PW: | |
| 申請する演目のWEB公開資料 | 有 | | | | | | | | | | |
| ※公開資料有の場合URL | https://www.youtube.com/watch?v=rSHC1aMifBs https://www.youtube.com/watch?v=ZGsZQlqXlaY https://www.youtube.com/watch?v=Lkbhr9xg_4A | | | | | | | | | | |
| ※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード | <table border="1" data-bbox="933 1803 1446 1888"> <tr> <td>ID:</td><td></td></tr> <tr> <td>PW:</td><td></td></tr> </table> | ID: | | PW: | | | | | | | |
| ID: | | | | | | | | | | | |
| PW: | | | | | | | | | | | |

公演・ワークショップの内容

【公演団体名

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

| 対象 | 小学生(低学年) | ○ | | |
|--|--|------|------------------------------------|--|
| | 小学生(中学年) | ○ | | |
| | 小学生(高学年) | ○ | | |
| | 中学生 | ○ | | |
| 企画名 | おきなわ伝統芸能「はじめての琉球古典音楽、三線にチャレンジ」 ^{さんしん} | | | |
| 本公司演目 原作/作曲 脚本 演出/振付 | 1.古典音楽齊唱「かぎやで風節」八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 2.ごあいさつ、沖縄県と琉球古典音楽の紹介、●うちなーぐちクイズ 3.琉歌の紹介、●児童・生徒が作詞した作品を演奏 4.三線の独唱「鶴亀節」八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 5.琉球筝曲の独唱「對馬節」七・五調 (実演と歌詞の意味など紹介) 6.琉球舞踊の上演「浜千鳥」雜踊り八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 7.器楽演奏「瀧落管撥」 (実演と聞き所などを紹介) 8.楽器紹介 (構造や音色についての話) 9.●装束着付け体験 10.●歌三線の演奏披露「きらきら星」七・五調 11.組踊上演「波平大主道行口説」二才踊り八・八・八・六調 (実演と歌詞の意味など紹介) 12.●校歌合唱 13.カーテンコール、感想インタビューと質問コーナー ※●は児童・生徒の共演、参加又は体験の演目 | | | |
| | ※別添:本公司演目①②参照 | | | |
| | 公演時間 90 分 | | | |
| 著作権、上演権利等の許諾状況 | 各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否 | 該当なし | 該当コンテンツ名 | |
| | 該当事項がある場合 | 権利者名 | 許諾確認状況 | |
| 演目概要 | 琉球古典音楽は、演奏形態や演奏の役割、歌詞に特徴があります。お祝いや、めでたい座開きの時に演奏される「かぎやで風節」を、齊唱で琉歌の八八八六調の形式で演奏します。長寿の象徴の鶴と亀にあやかり長寿・子孫繁栄を祈願して詠まれた歌曲「鶴亀節」を、三線の独唱で琉歌の形式で演奏します。稲嶺盛淳が薩摩で習い覚え、琉球に持ち帰ったことで伝来した声楽曲「對馬節」を、琉球筝曲の独唱で、和歌の七五調の形式で演奏します。器楽演奏は代表曲「瀧落管撥」を演奏します。また伴奏(地謡)の役割を担う演目として、琉球舞踊から「浜千鳥」、組踊から「波平大主道行口説」を上演します。 | | | |
| 演目選択理由 | 琉球古典音楽の歴史上の価値、音楽性、地方的特色を、強く感じていただける演目と致しました。 ○演奏に使われる楽器は、中国から伝来された三線、後に箏・笛・胡弓・太鼓なども伴奏楽器として加わり、宫廷音楽として発展を遂げ、冊封使の歎待儀式の際に士族によって演奏されていた歴史的背景があります。 ○齊唱・三線独唱・箏曲独唱・器楽演奏など様々な演奏形式があり、また琉球舞踊や組踊の伴奏の役割を担っています。琉球音楽にはこうした多様な音楽性があります。○歌詞には琉歌が使われています。首里王府によって編纂された、おもうさうしは琉球古語が多く使われ、琉歌の源流と考えられます。こうした言語文化があります。これら教育的価値の含まれる演目を、分かりやすく興味を持って鑑賞できるように、実演とレクチャーを通して、お伝えしたいと考えます。 | | | |
| 児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 | ●「うちなーぐちクイズ」:案内役の進行で、うちなーぐちを二択のクイズ形式で行います。鑑賞者はその場で参加できます。 ●「児童・生徒が作詞した作品を演奏」:ワークショップで、琉歌もしくは和歌を作る課題をお出しして、本公司でその課題を頂戴して地謡が演奏を致します。 ●「装束着付け体験」:代表児童・生徒が、士族の正装、黒朝・ハチマチ・金襷大帯を着付します。自身の姿を鏡で見て、演奏者と一緒に並んでみましょう。 ●「歌三線の演奏披露「きらきら星」:地謡と一緒に合奏です。鑑賞者は一緒に歌いましょう。 ●「校歌合唱」:地謡の伴奏による校歌合唱です。鑑賞者はその場で参加できます。 | | | |
| 出演者 | 沖芸大琉球芸能専攻OB会 会員 ・琉球古典音楽演奏家 よなは徹、比嘉千咲、宜保和也、横目大通、島袋奈美、平良大、大城貴幸、澤井毎里子、大城建太郎、亀井美音、ほか ・琉球舞踊家 石川直也、新垣悟、佐辺良和、喜屋武愛香、新里春加、川満香多、伊藝武士、吉田真和、古謝渚、喜納彩華、仲嶺夕理彩 ほか | | | |
| 本公司従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む | 出演者: 9 名 スタッフ: 7 名 合 計: 16 名 | 運搬 | 積載量: 2 t 車 長: 4.7 m 台 数: 1 台 | |

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

| 本公演 実施可能日数目安 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | |
|-----------------|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | 10日 | 8日 | 0日 | 11日 | 5日 | |
| | 11月 | 12月 | 1月 | 計 | 55日 | |
| | 3日 | 4日 | 14日 | | | |

※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

| | | | |
|------------------|-----|--------|----------------------|
| 児童・生徒の 参加可能人数 | 本公演 | 共演人數目安 | 10名(歌三線を演奏披露する児童・生徒) |
| | | 鑑賞人數目安 | 400名程度 |



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出やがわかる写真)

※採択決定後、採択団体へ図面等詳細の提出をお願いします。



【公演団体名】

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

| 児童・生徒の参加可能人数 | ワークショップ | 参加人數目安 | 100名程度 |
|----------------------------|---------|--------|---|
| ワークショップ実施形態及び内容 | | | <p>標準:90分 (①～⑤:45分) (⑥⑦:45分:代表児童・生徒のみ)</p> <p>①指導者全員が着物を着て、体育館で児童・生徒の皆さんをお迎えします。 ・始めて指導者全員で、あいさつをします。続いてうちなーぐちで‘ハイサイ’とあいさつします。 児童・生徒の皆さんも‘ハイサイ’と言ってみましょう。</p> <p>・指導者が、一人ずつ名前と役割など紹介します。 ・事業の紹介と、ワークショップで何を行うか、プログラム順でご案内します。</p> <p>②沖縄県独自の代表的な音楽のジャンルを2つご紹介します。 ・琉球古典音楽と民謡、それぞれのジャンルから1曲ずつ、三線の演奏をお聞き下さい。 ・ジャンルそれぞれの、特徴やあらましについてお話します。 ・琉歌のおはなし。琉歌と和歌の違いや、特徴をお話しします。琉歌の文字数、8886に合わせて、実際に作ってみましょう。</p> <p>③楽器を紹介します。三線とカンカラ三線について。 ・三線の伝来や歴史をお話ししながら、三線をパーティごとに分けて机に置きます。 ・パーティの素材や役割を、クイズ形式で紹介しながら、組み立てていきます。 ・組立てられた三線の音色や音階、楽譜などをご紹介します。 ・カンカラ三線の、歴史背景や構造、音色をご紹介します。</p> <p>④三線を体験してもらいます。参加者全員が、三線を構えて、バチを持ち1弦ずつ弾いてみましょう。 ・三線を10挺程度、準備します。 ・1台の三線に対して、児童・生徒は5人1組のグループとなり、1人ずつ三線を体験します。 ※児童・生徒の人数が多い場合には、指導者1人が会場内の別の場所で、演奏をより近くで聴いてもらったり、質問コーナーを行います。</p> <p>⑤最後に、ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせて下さい。 休憩:10分</p> <p>⑥代表児童・生徒の皆さんが、三線で‘きらきら星’の練習をする時間といたします。 ・三線の構え方、弾き方を基礎から繰返し練習します。 ・いよいよ譜面を見ながら‘きらきら星’を弾いてみましょう。 ・最後に声を出して、歌いながら繰返し演奏します。</p> <p>⑦最後に、ワークショップを振り返って、感想や質問を聞かせてください。</p> <p style="text-align: right;"><u>※別添:ワークショッププログラム参照</u></p> |
| ワークショップのねらい | | | <p>地方的特色や音楽的特色が顕著な、沖縄県独自の代表的な音楽ジャンルの琉球古典音楽と民謡を児童・生徒が初めて識る貴重な機会となります。どのジャンルにおいても中心的な役割を担う楽器、三線を初めて体験することでしょう。</p> <p>こうした沖縄県独自の代表的な音楽を幅広くレクチャーし、三線の体験を行うことで、本公演への興味関心を促し、さらには芸術鑑賞能力の向上、音楽教育にも繋がると思うのです。</p> <p>また三線の伝来や歴史的背景、構造を紹介することにより、貴重な物であることを知ることでしょう。さらにカンカラ三線を紹介することで、沖縄県の歴史にも触れ、社会教育の一助になるととも考えます。</p> <p>琉歌と和歌の違いを知り、その場で考えて琉歌を作りすることで、発想力が養われ国語教育にも繋げたいと考えます。代表児童・生徒が、三線で‘きらきら星’を練習することで、演奏の楽しさ、技術の難しさを感じ、指導者の技術の高さを知ります。指導者は児童・生徒の憧れの存在となるような姿勢で、ワークショップに取り組むことで、芸術家の育成に繋がると思うのです。</p> <p>ワークショップの最後に振り返りを行うことで、学んだことを自覚し、次の学びを生み出すことが出来ると考えます。また、自己の成長を自覚すると共に、その場で発表することで、他者の振り返りの内容を共有し、自分の学びに生かすことが出来ることでしょう。</p> |
| その他ワークショップに関する特記事項等 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・本公演までの課題として、琉歌もしくは和歌(七五調)作ってみてください。 作った歌詞に節を付けて、本公演に於いて、地謡が演奏します。 ・校歌の音源をお借りください。本公演に於いて校歌を地謡が演奏し、児童・生徒と共に演を行います。 <p>ワークショップで経験した三線や、本公演で鑑賞する琉球古典音楽について、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化デジタルライブラリーから以下のサイトをご紹介致します。</p> <p>【琉球古典音楽】 https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc8/rekishi/ryukyu/index.html</p> <p>【日本の伝統楽器】－楽器編－ https://www2.ntj.jac.go.jp/dglib/contents/learn/edc6/edc_new/index.html</p> |

A区分・B区分・C区分共通

別添

リンク先

No.2

【公演団体名】

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

本公演プログラム

1. 古典音楽斎唱 「かぎやで風節」



2. 沖縄県の紹介 うちなーぐちクイズ

ちゅらさん
①美しい
②かわいい

3. 琉歌の紹介 児童・生徒が作詞した作品 を演奏



4. 三線の独唱 「鶴亀節」



5. 琉球箏曲の独唱 「対馬節」



6. 琉球舞踊の上演 「浜千鳥」



7. 器楽演奏 「滝落管攬」

本公演演目①

A区分・B区分・C区分共通

別添

リンク先

No.2

【公演団体名】

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

本公演プログラム

8. 楽器紹介 (構造や音色について)



9. 装束着付け体験



10. 歌三線の演奏発表 「きらきら星」

11. 組踊上演

はんじゅうふぬしのみちゆきくどうち
「波平大主道行口説」



12. 校歌合唱

13. 感想インタビューと質問コーナー

リンク先

No.3

【公演団体名】

沖芸大琉球芸能専攻OB会

】

ワークショッププログラム

①ご挨拶
うちなーぐちのあいさつ、ハイサイ！
皆さんも一緒にハイサイ！

②琉球古典音楽と民謡の聞き比べ&琉歌を作ろう
琉球古典音楽と沖縄民謡、それぞれ1曲ずつ三線の演奏を聞いてみましょう。歌詞に使われている琉歌の文字数8886に合わせて、琉歌作りにもチャレンジしましょう。

③楽器（三線）の紹介
琉球舞踊の伴奏に使われる代表的な楽器、三線。
三線を目の前で分解してパートごとに紹介します。
組み立てられた三線の音色や音階を聞き、楽譜も見てみましょう。
また、カンカラ三線の歴史背景を学び、その音色を聞いてみましょう。

④三線体験コーナー
全員交代で、三線を構えてバチを持ち1絃ずつ弾いてみましょう。
三線の楽譜、工工四（くんくんしー）も間近で見てみましょう。

⑤ワークショップの感想や質問をみんなでシェアしましょう。

<休憩10分>

⑥歌三線「きらきら星」の練習
三線の構え方、弾き方を基礎から繰り返し練習します。
いよいよ譜面を見ながら「きらきら星」を弾いてみましょう。楽器の演奏ができるようになったら、声を出して歌いながら演奏します。

⑦練習を振り返って、感想や質問をみんなでシェアしましょう。